

先月号に引き続き、市政懇談会の模様を紹介いたします。  
※懇談会の内容について、関心が高いと思われる質問を抜粋してお知らせします。詳細は市のホームページでも閲覧できます。



## 原城跡の充実を！

○ 商工会で原城跡を訪れた人を対象に3月27日・28日アンケート調査をした。2日間で原城跡を訪れた850人のうち、約20%の回答をいただいた。アンケートの結果、良い面は景観のよさや手を加えていないありのままの姿、ガイドしてもらったので原城跡がよくわかったという意見があった。悪いところは、トイレの悪さ、アクセスの方法が分かりにくいという意見があり、施設の評価は高いが、施設の周知と案内の見直しが必要では？との結果が出ている。原城跡に行った人のうち、原

## 論所原(北有馬)から取水するの

○ 前市長のときに、論所原の試掘が、住民説明のないまま行われた。別途尋ねると、「試掘だけで、その水を使うことはない」とのことだった。ところが、最近になって、説明を受けたと

きには、その水源から取水する計画案の説明であった。しかも補助金申請を行う段階にあるなど、引き返せない状況との説明である。おかしいのではないかと、周辺地区は出水で稲作を行っているから、論所原で取水することで出水が出なくなることを心配している。

○ 当初、水道統合計画を計画するにあたっては、既設の水源の利用を考えて計画をしました。が、既設施設の老朽化により、多額の改修費が必要であることから、新しい水源開発が必要となりました。周辺の集落との距離や、周辺が山であり、土地が市有地であったことから、論所原で試掘ボーリングを実施して、水量、水質などの検査をしました。試掘ボーリングの実施にあたり、地域住民への説明なしに、調査を実施したことは反省し、お詫び申し上げます。

○ その後、論所原での取水は行わず、既設の水源を利用するよう計画しましたが、坂下水源の水質の問題が判明しました。検討の結果、既設の水源利用の計画を断念せざるを得ないと判断し、論所原の水源を利用する方向で計画を進めてきました。そのため、再度論所原の水源

○ 利用できないか、周辺の自治会長に説明し、自治会で説明会をさせていただけるよう、お願いしたところです。

## 市独自のイノシシ対策を！

○ 県から配分されるイノシシ対策予算が少なくなっている。問題の重要性を理解して、最大限の努力をしてほしい。

○ イノシシの被害対策費は、国の事業仕分けで、補助金が要望額の4割に減額されました。事業効率を上げるために、継続地区を優先して行っています。また、先般行った、県知事に対する要望11項目の中にも、基盤整備事業とイノシシ対策を盛り込んでいます。予算の全体枠の拡充と県の繰り上げなど、今後も引き続き要望していきます。



○ 未利用施設の現状と今後  
各町が持っていた財産(宅地や小学校跡地など)はどうなっているのか。小学校跡地など、借地を減らし、経費を減らすようにしてもらいたい。

○ 使わない財産、使用頻度の低かった財産のうち、使える施設は積極的に利用しています。深江庁舎の2階はコールセンター(企業誘致)、北有馬庁舎2階は包括支援センター、口之津庁舎別館は観光協会として利用しています。

○ 統合された口之津町の小学校跡地のうち、第2小学校は文書センターとして利用しています。第3小学校は建物を社会福祉法人に移譲、土地は有償で貸し付けています。第1小学校舎は耐震補強ができないので、取り壊さなければいけません。約5千万円の費用が必要となりますが、整理をしていく予定です。

○ このほか、北有馬町の小学校跡地は幼稚園に転用したり、宅地造成を行い、住宅地となるところもあります。

○ 市として使う予定がないものについては、民間で有効に活用できないか、払い下げも含めて検討していきます。

## 日本、南島原の発展のキーワード

## 「中国」との交流

8月16日から20日、藤原市長が、中村知事らと共に、中国(上海市、北京市)を訪ねてきました。ここでは、その模様を報告します。



○ 今回の中国訪問は、中国駐長崎総領事館の開設25周年を記念した長崎県の中国訪問団の一員として、中国の各政府機関のほか、観光、物産など、県と関わりのある主要企業を敬訪問したものです。

○ 初日の16日は、上海到着後すぐに、上海市政府、龔宇平党常務委員を表敬訪問しました。同氏には、8月24日から6日間上海万博で開催された「孫文と梅屋庄吉展」への協力と、今後の長崎との関係強化を、知事と共にお願いしました。

○ 梅屋庄吉は、辛亥革命の父と呼ばれる孫文を陰で支えた実業家として有名ですが、彼が長崎県出身であることは皆さんご存知でしたか。

○ 翌17日は、午前中に上海万博を視察し、長崎鮮魚が食べられる店で、昼食をとりました。私たちのふるさとからも、鮮魚が中国へ出荷される日も近いかもかもしれません。

## 中国で頑張る長崎人・島原半島人から勇気をもりました

○ 午後、長崎上海空路を運行している中国東方航空集団会社の副総裁を表敬した後、夕刻は、在上海長崎県人会の懇談会に参加しました。島原市出身の横田会長やお父様が深江町上瀬野出身である池田氏とお会いし、今後の協力をお願いしました。

○ 長崎県民、中でも島原半島出身者の中国上海での活躍を心強く感じ、また、大変うれしく思いました。

## 長崎と縁の深い習副主席との面会実現



天安門広場(19日、市長が車窓から撮影)今日は何かあるのですか?と尋ねたら、特に何も、との回答。中国は大きい。本当にそう感じました。

○ 19日は、中国国際旅行社総社、中国中央電視台を表敬訪問し、長崎をPR。午後には、習近平国家副主席との面会が実現しました。

○ 同氏は、胡錦濤国家主席の最有力後継候補と言われるほどの人物ですが、長崎県と友好関係を結ぶ福建省長など

○ を歴任。長崎県を訪問の経験もあるなど、長崎に対して深い思い入れをお持ちです。長崎県、各市町と、福建省をはじめとした中国各地域とのますますの交流促進に期待されていました。

## スケールの大きさに感嘆する5日間

○ 今回、経済都市上海、首都北京を訪問し、中国のパワーやスケールの大きさ、マーケットの巨大さを実感しました。市長として初めての外交でもあり、あわただしい訪中でしたが、南島原市が進めていくべき観光、物産のあり方など、中国市場を探ることができました。

○ 近年、長崎県へも中国から多くの観光客が訪れており、先日は団体観光客がイルカウォッチングに訪れています。本市においても友好交流を深めている福建省羅源県との絆をもとに、観光、物産の促進を進めていきたいと考えています。



上海市政府訪問。南島原市出身の末吉県議会議長と唐登傑(とうとうけつ)上海副市長。(市長撮影)